

## 日弁連高校生模擬裁判選手権オンライン・開催概要

### <目的>

- 1 刑事裁判の検討を通じて①事実を的確に把握し、多角的な視点で考える力、②事実に基づいて論理的に意見を構成する力、③意見を分かりやすく他者に伝える力を育成する。
- 2 刑事手続きの意味や刑事裁判の原則を理解する。
- 3 法教育に取り組む生徒同士の交流を図る。
- 4 新型コロナウイルス感染症が蔓延する中であっても法教育を受ける機会を奪われないよう、実行可能な企画を提供する。

### <競技方法と審査対象について>

#### 1 概要

日本弁護士連合会が作成した「教材集」（実際の裁判手続に則った形の教材）に示された証拠（証拠物や調書等）に基づき、出場校が検察側・弁護側のいずれかの立場に立って主張（論告または弁論）を行います。シナリオどおりに読んで演じる模擬裁判ではありません。参加校は、あらかじめ決められた時間に従って主張を行い、審査員が各参加校の立論を評価して採点し、その総合得点で勝敗を決します。

#### 2 例年の模擬裁判選手権と異なる点

例年の模擬裁判選手権と異なる主な点は、以下のとおりです。

- ① 参加校生徒は、オンライン（ZOOM）による参加を行い、実際の法廷は使用しません。
- ② 参加校は、論告または弁論のみを行います。証人尋問は行いません。また、被告人質問については、当日、弁護士が実演を行い、その後に参加校の生徒たちが補充的に質問を行う時間は設けますが、それは採点対象とはしません。
- ③ 参加校は、検察側・弁護側の双方の立場には立たず、いずれか一方のみを行います。ただし、いずれになるかは当日に発表しますので、事前準備の段階では、各参加校は、両方の立場からの検討を要します。
- ④ 生徒同士で他校の感想を出し合う「感想戦」を行う予定です。

### <各チームの人員について>

出場に必要な生徒数は、**最低3名**です。また、大会当日試合に参加できる選手の最大人数は設けませんが、各校が接続できるZOOMアカウントは、最大6アカウントまでとします。

### <選手権当日までの準備について>

参加校が選手権当日までに行う準備は、[争点の確定→争点についての主張方針の確定→

※現時点での予定であり、今後変更の可能性がります。

論告・弁論の準備]となります。各参加校に「支援弁護士」が配置され、オンライン（ZOOM）により、2回程度、活動の支援に当たります。

## ■選手権当日のタイムスケジュール（予定）■

2020年12月19日（土）

13：00開始 18：00終了（予定）

|       |              |
|-------|--------------|
| 13：00 | 受付開始         |
| 13：40 | 開会のあいさつ・概要説明 |
| 14：00 | 模擬裁判実演       |
|       | 補充質問検討       |
|       | 補充質問         |
| }     | 休憩・プレゼン準備    |
|       | プレゼン本番       |
|       | 感想戦          |
|       | 講評           |
|       | 結果発表         |
| 17：45 | 閉会のあいさつ      |

※現時点での予定であり、今後変更の可能性があります。